

チャペル週報

主に望みをおく人は新たな力を得
鷺のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

(イザヤ書40:31)



2011.7.11~7.15 No.13
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

7月11日(月)	神 木 村 亜 希(神4) 経 舟 木 讓(経済学部宗教主事) 人 佐 藤 聡(メインストリーム協会事務局長) 聖和 聖書物語「神さまからの使い」
7月12日(火)	神 今 井 孝 司(M2) 文 森 田 雅 也(文学部教授) 社 出会い⑨ 打 樋 啓 史(社会学部宗教主事) 法 栗 林 輝 夫(法学部宗教主事) 経 嶺 重 淑(人間福祉学部宗教主事) 商 藤 川 義(人3) 国 平 林 孝 裕(国際学部宗教主事) 聖和 芝 田 正 夫(教育学部教授・学部長) 総 学生による被災地支援活動報告
7月13日(水)	神 李 政 元(総合政策学部准教授) 社 出会い⑩ 栗 林 輝 夫(法学部宗教主事) 法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師) 経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師) 商 山 本 俊 正(商学部宗教主事) 人 藤 川 義(人3) 国 丸 楠 恭 一(国際学部教授) 聖和 「教育実習を終えて」人文学部実習生 理 「自分探しはやめよう」長 田 典 子(理工学部教授) 総 村 瀬 義 史(総合政策学部宗教主事)
7月14日(木)	神 鍋 谷 由美子(M1) 文 永 田 雄次郎(文学部教授) 社 学期末に当たって 宮 原 浩二郎(社会学部教授・学部長) 法 杉 浦 健(ヒューマンサービスセンター) 経 舟 木 讓(経済学部宗教主事) 商 梅 咲 敦 子(商学部教授) 国 Eun Ja Lee(宣教師) 聖和 聖和ジャズ礼拝「竹中 真&吹奏楽部、そしてみんなで」 総 村 瀬 義 史(総合政策学部宗教主事)
7月15日(金)	院 樋 口 進(宗教センター宗教主事) 神 田 部 朋 彦(D2) 文 春学期終了チャペルパーティ 経 山 本 俊 正(商学部宗教主事) 人 井 出 浩(人間福祉学部教授) 聖和 田 淵 結(教育学部宗教主事) 理 春学期最終礼拝

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00～8:20 於：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
 7月15日(金) 聖和短期大学のために 広 渡 純 子

「夏休みを前に」

一人との関わりを意識して—

中 西 康 裕

例年になく早い梅雨明けである。鹿児島では観測史上2番目に早い梅雨明けとなり既に猛暑がおそいかかっています。この週報が出るころには関西も梅雨明け、すっかり暑い真夏の日差しを浴びているのではないだろうか。

学生の皆さんは目前の定期試験に向けて必死に勉強をしている時期だと思えます。試験終了後は待望の夏休みに入ります。既に夏休みの計画を立てている学生の皆さんも多いかと思えます。研究テーマに取り組みされる方、課外活動に没頭される方、国内・海外旅行に行かれる方、インターンシップや留学に参加される方…。最近の学生は目標意識がしっかりとしており、夏休みに「何」をやるかをきちんと決めて実行される方が多いように思います。これは政治でも経済でも明るいニュースが少なく逆に不安を煽られる結果、何かしなければ…と焦る気持ちがよりそのように行動させるのではないのでしょうか。

皆さんは夏休みのこれらの取り組みの中で「何を意識」して過ごしますか？技能・技術を身につけるのは非常に大切です。しかし、皆さんは卒業すると「社会」へ出ます。社会に出るということは、今まで以上に多くの人々との関わり、つまり「個性」と接する中で仕事等をしていかなければなりません。そのためには「人との積極的な関わり」「人が何を考えているか」「自分の意志を人に伝える」「人と協調する気持ちをもつ」…これらが大変重要になってきます。ただ、単に「海外旅行に行って楽しかった」「インターンシップに参加してきた」…だけでははるごくもったいないと思います。人との関わりというのは非常に難しい面倒なところもあります。だからこそ余計に学ぶことも多く、自分の成長にもつながります。折角の夏休みです。貴重な経験をして自らの成長に繋げるためにも、人との関わりを意識した夏休みとしてください。

「道の道とすべきは常の道にあらず」…人間が学んでいくべき生き方（道）は、世の中の人みんなが「いい生き方」だといっている生き方ではない。

（文学部教授・学生部長）

●宗教活動委員会 第1回教育研究部サロン

「関西学院創立者 W.R.ランバスの生き方に学ぶ」

映画「パールリバーより地の果てまで～W.R.ランバスの生涯～」

ミニ・レクチャー「ランバス先生のたどった道」

と き:7月14日(木)18:00～20:00

ところ:西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル(山川記念館2階)

講 師:神田健次(神学部教授、キリスト教と文化研究センター長、学院史編纂室長)

主 催:宗教活動委員会教育研究部

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

7月15日(金) 田 淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

7月22日(金) A.ルスターホルツ(文学部宗教主事)

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち44人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き:10月8日(土)13時～17時頃(途中休憩有)

ところ:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

指導者:高橋明子、太宰まり、能島亜未

主 催:吉岡記念館事務室宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月25日(火)

11月15日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35～11:05

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。秋学期の発行は9月20日(火)からです。よい夏休みを!